

ユネスコスクールの今後の方向性

新年度が始まり、各学校では、ユネスコスクールとしての具体的な活動を進められておられることと思います。

さて、本年3月末に「多様化の時代におけるユネスコ活動の活性化についての提言～持続可能な社会の構築を目指して～」が示されました。その中で、国内の交流も十分に進んでいないことが課題とされ、ユネスコスクールが今後とるべき方向性に「国内外の交流」の促進があげられています。ユネスコスクール推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果を積極的に発信し、ユネスコスクール間で交流し合うことが必要とされます。

大牟田市内小・中学校・特別支援学校では、各学校において総合的な学習の時間を中心に充実した具体的な取組が行われています。これらの成果を国内外のユネスコスクールと交流する中で、実践がさらに充実・発展していくことを願っています。

大牟田市立船津中学校の実践

「福祉体験学習を通して」～高めよう私たちにできること～

本校は、第1学年での「総合的な学習の時間」において、福祉教育と福祉体験の取組を中心としてみなと小学校で学んできた経験を活かして、さらに高める活動を予定しています。

活動内容としては、昨年度は、認知症学習会、手話教室、有明高等学校看護科の生徒を講師として実施する高齢者疑似体験と車いす介護実習の交流授業を実施しています。

施設体験学習の事前には、ゲストティーチャーを招いて認知症の学習を班ごとに実施し、理解を深めてから、施設訪問の事前打ち合わせ等を生徒自身に行わせ、自主的な活動を支援しながら実践をしました。活動場所は、近郊の介護施設を有する病院やデイケア施設等、各事業所などの協力を得て高齢者に対する接し方、協同の制作作業やレクリエーション、生徒によるダンスの演技等、施設内での体験活動を通して、言葉のかけ方、目線の高さ、会話の早さや声の大きさ、施設設備の必要性等、沢山の学びを得ることができました。本年度も、2学期に同様の計画を進めていきます。



本年度の委員と主な行事

☆平成26年度委員

会長 橋本 一郎(吉野小) 西田 雅子(米生中)
部長 戸塚 俊也(駿馬北小)
副部長 石橋 実(大牟田小) 田頭 昌憲(右京中)
書記 石橋 実(大牟田小) ※副部長兼務
推進委員 萩島 弥穂(天領小) 溝上 尚子(平原小) 廣松 隆広(吉野小)
西峯 高史(勝立中) 高倉 洋美(米生中) 寺本 健彦(大特支)
どうぞ、1年間、よろしくお願いします。

- (1) ユネスコスクール研修会
平成26年 8月26日(火) 研修内容については検討中
- (2) ユネスコスクール子どもサミット
平成27年 1月10日(土) 10:00～12:00
会場 文化会館 小ホール
- (3) ユネスコスクール報告書の作成
 - ユネスコ国内委員会への提出
 - 指導室への提出



大牟田市立みなと小学校の実践

「高齢者の方との交流を深めよう」～広げよう私たちにできること～活動を通して

みなと小学校6年生は高齢者疑似体験を行い、高齢者の方々の苦勞について体験したことを元に話し合いました。次に長寿社会推進課の方をGTとして迎えての絵本教室で、認知症に対する正しい知識を知り、認知症の方との接し方を話し合いました。

グループでまとめた意見を出し合い「自分に出来ることを見つけて増やしていこう!」をめあてにしました。

校区にある介護施設を訪問し、ふれあい体験活動を通して高齢者の方々に対する接し方について考えました。

そして「私達にできること」を合い言葉に今後の実践への意欲づけができました。

